

## 咲き誇る五郎沼古代ハス 中尊寺より株分け20年目

平泉中尊寺より五郎沼薬師神社に株分けされてから20年目となった五郎沼古代ハスは、昨年と同じ7月1日が開花始まりでした。樋爪館懇話会の遺跡案内人部会では、7月中旬の連休3日間においてハス池近くに案内所を設け、雨のため休止した時もあったが、来園者へ五郎沼古代ハスの由来や樋爪館に係わる歴史等をガイドした。

ハスの花は朝早くに咲いて午後には萎むという特性があり、観賞のタイミングとしては、午前中の早い時間帯がベストである。また、3日間咲いたり萎んだりを繰り返すが、4日目以降には萎まず、花びらの色もあせた状態で枯れ進み見栄えもよくないようですので、開花2日目が最も美しく観賞するポイントであります。8月半ば頃まで最盛期より開花は少ないようですが、その花姿を楽しむことができる。



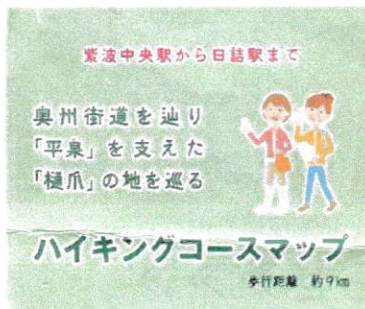
中尊寺より株分け20年目の五郎沼古代ハス (7/10)



古代ハスの由来資料を渡し説明をする案内人 (7/16)

## 奥州街道を辿り「平泉」を支えた「樋爪」の地を巡る

駅で渡しているコースマップ



一般社団法人 紫波町観光交流協会

### ＝JR東日本の駅からハイキング＝

JR東日本の「駅からハイキング」が7月9日から8月7日までの30日間において開催されている。駅で渡されるマップどおり歩いていくだけで、名所旧跡や知らなかったスポットに出会い観光と健康を兼ねた参加予約不要で無料のウォーキングイベントです。

紫波町観光交流協会がJR東日本にエントリーし採択された「奥州街道を辿り「平泉」を支えた「樋爪」の地を巡る」のコースは、紫波中央駅をスタートし日詰駅をゴールとする歩行距離約9kmとなる。

奥州街道の宿場町日詰、盛岡藩時代からの街並を散策、平泉藤原氏ゆかりの樋爪館関連遺跡、五郎沼古代ハスの池等を巡り一日ゆっくり歴史に浸るコースは下記のとおりである。

紫波中央駅→  
樋爪商店街→

平井家住宅→志賀理和氣神社→樋爪館関連遺跡群→鳴の堂観音(右写真)→樋爪館跡→  
→五郎沼薬師神社→大荘厳寺跡→五郎沼の蓮→黄金伝説の山吹川→五郎沼経塚跡→延文六年供養碑→箱清水石都婆群→日詰駅



【鳴の堂観音】  
当国三十三観音六番札所。五郎沼の観音島にあったが、嘉永4年(1851)現在地に移転。



7月20日に開催した第131回月例発表会において、発表者が用いました資料から一部分を抜粋して掲載しましたのでご了承願います。

## 宮 良夫氏の「『善光寺前立観音ご開帳』と禅宗とは？」

### 善光寺前立本尊御開帳・六善光寺

善光寺の御本尊は白雉5年(654)孝徳天皇の勅令以来の秘仏であり(応永縁起)、鎌倉時代にご本尊の御身代わりとして前立本尊が造られた。

丑年と未年の七年に一度御開帳となっている。

全国に善光寺と称する寺院は200以上あるようだが、正式に名乗っているのは119カ寺である。

今年は、六寺同時御開帳であり善光寺(芋井：長野市)、元善光寺(麻績：飯田市)、甲斐善光寺(板垣：甲府)、善光寺東海別院(祖父江)、関善光寺(=宗休寺・岐阜県関市)、岐阜善光寺(=安乗院・伊奈波)で4月3日から6月29日まで88日間行われる。

金堂前には卒塔婆の回向柱が立ち、阿弥陀如来の右手中指と「善の綱」で結ばれ、自分の修めた功德を他にも差し向けるという意味である。

回向柱は宝永4年(1707)徳川幕府から普請を命じられた松代藩が寄進している。

令和3年9月5日に須坂市で、高さ30m、幹回り2m、樹齢150年の杉の木から、高さ10m、45cm角、重さ3tの回向柱となる。令和4年3月27日の受入式で寄進される。

4月2日：前立本尊の厨子を御宝庫から本堂に運ぶ前立本尊御遷座式が行われる。

4月3日：午前6時に住職が厨子を開く開關大法要、10時から法要。

4月23日と5月7日：稚児行列と法要の中日庭儀大法要。

6月29日：午後5時に厨子の扉を閉める結願大法要。

6月30日：御宝庫を封印する前立本尊還座式。

出開帳：江戸時代以降5回行われる。

前立本尊、釈迦涅槃像、御印文(法印)、御三卿不滅の法燈(=常燈明、御三燈)本尊の白毫から放った光、本堂瑠璃壇で輝く。

お朝事：僧侶の読経・十念、夏は5時30分から、冬は7時から各々40分間 往復時「お数珠頂戴」

お戒壇巡り：御本尊真下の回廊を巡る。真っ暗で「極楽の錠前」を探りあてご本尊と結縁する。



お戒壇巡りのカギ

## 《《《 8月～9月行事予定のお知らせ》》》

<p>8月17日 (水曜日)</p>	<p>第132回 月例発表会</p>	<p>午後7時～午後9時 会場 赤石公民館 講義室 発表者 平井和夫 テーマ「『吾妻鏡』で見る北条義時」 ※ 4/17の続きですので、その時の資料を必ず持参して下さい。</p>
<p>9月21日 (水曜日)</p>	<p>第133回 月例発表会</p>	<p>時間 午後7時～午後9時 会場 赤石公民館 講義室 発表者 石幡 信 テーマ「安東家と十三湊」 ※ 会員研修旅行を10/20(木)～21(金) 1泊2日で十三湊方面を予定している。</p>